

ゲンジボタルとヘイケボタル (馬堀自然教育園)



→ 浦半島に生息する代表的なホタル類はゲンジボタルとヘイケボタルです。両種とも幼虫は水生生活をし、成虫はゲンジボタルで5月中旬から、ヘイケボタルで6月中旬から、それぞれ3週間くらい活動します。オスは点滅しながら飛び、点滅がゆっくりなゲンジボタル(約4秒周期)とせわしないヘイケボタル(約0.5秒周期)とでは、スローシャッター撮影で上の写真のような違いが出ます。三浦半島には他にオバボタル、ムネクリイロボタル、カタアカホタルモドキ、クロマドボタルが生息しています。馬堀では6月14・21日(各土曜日)に自然観察会「ホタルの観察Ⅰ・Ⅱ」を予定しています(事前申込制)。

佐島の地層 (天神島臨海自然教育園)

1 年でもっとも干満の差が大きくなる春の大潮には、海岸の地層が観察しやすくなります。佐島の海岸には黒や白の地層のしま



模様がよく見られます。これらの地層はおよそ500万年前に、火山灰や火山礫が海底に降りつもってつくられました。もともとは水平なしま模様でしたが、長い時間をかけて土地が隆起する間に、斜めに傾いてしまいました。佐島の地層は「佐島石」と呼ばれ、1970年代まで石材として切り出されていました。5月18日(日)の自然観察会「佐島の地層」でこれらの地層を観察します(事前申込制)。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.7 No.1

(2014年春号)

2014年3月15日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



コセアカアメンボの成虫(左上)と様々な齢の幼虫たち(5月)



ヤマザクラ(左・3月)とオオシマザクラ(右・4月)



上の池 (4月)

上の池も春めく！ 馬堀では3月下旬頃からのサクラ類の開花などで急に春の訪れを感じられるようになります。上の池では水面や水中から周辺に向かってにぎやかになっていきます。アサヒナカワトンボが飛び回るようになったら水面にも注目してください。コセアカアメンボは様々な大きさの幼虫と成虫を同時に観察することができます。また、成虫で越冬していたクロウリハムシのメスは、産卵をひかえた大きなお腹で葉をせっせと食べます。



アサヒナカワトンボ (5月)



ヤブヤンマ (5月)



アカハライモリ (5月)



コモチマンネグサ (6月)



クロウリハムシ (5月)



マルバウツギ (4月)



ムラサキケマン (4月)



ゲンジボタルの幼虫 (3月)



キンラン (5月)

天神島のみどころ (3~6月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

変わる！動く！ 天神島の草地とその周辺では、冬の間じっとしていた生きものたちでひとときわにぎやかになります。越冬明けのハチのなかまは、春を待って開花した花々に蜜をもとめてやってきます。ナミテントウなどは4月には産卵し、5月には幼虫・蛹・成虫が相次いで観察できます。日当たりのよい場所ではカナヘビが体を温めにやってきます。



羽化直後のナミテントウと蛹(さなぎ)の殻. 左下はその後の成虫(5月)



オオタカ (3月)



セグロアシナガバチ (4月)



ケシウミアメンボ (6月)



イソヘラムシ (4月)



キアゲハの幼虫 (5月・6月)



ネズミウミウシ (5月)



ミツバアケビ (3月)



カナヘビ (4月)



アカスジカメムシの幼虫 (6月)



ウシオハナツメクサ (4月)

自然教育園の行事案内

今年度の行事についての詳細はリーフレット等をご覧ください

海藻入門

約180種のア藻が生育する天神島で、海藻の観察と押し葉作りを行います。今年は3月30日(日)と5月31日(土)の2回開催します。春と初夏で見られる海藻の種類も異なります。赤や緑などカラフルな海藻と海に親しむ機会としてください。

身近な植物観察

馬堀自然教育園の園内を散策しながら春から夏にかけて咲く草花を観賞し、学習棟で花や果実、葉や茎などをじっくり観察する講座です。身近な植物に親しみ、植物学の基礎を学ぶことで三浦半島の野山を歩く楽しみが2倍、3倍になると思っています。5月1日、6月5日、7月3日の3回連続講座(いずれも木曜日)です。

◎詳しくは「広報よこすか」や博物館ホームページ等をご覧ください。

天神島ガイドツアー

天神島臨海自然教育園では毎月第4日曜日に、園内の自然をご案内する天神島ガイドツアーを開催しています。さまざまな生き物や地形など、天然記念物に指定された天神島の豊かな自然を見ながら、スタッフとぐるり一周。毎月季節によって異なる楽しみがあり、参加される方々によって新しい発見があります!「何がつけられるかな〜?」とゆっくり歩いてみましょう。申し込み不要で、どなたでも気軽に参加できます。

◎2014年度は4月27日、5月25日、6月22日の10時30分~11時30分に予定しています。



2013年12月のツアーのようす

自然教育園のできごと

馬堀自然教育園の崖地と池の改修工事

馬堀自然教育園の自然を安全に、より快適に親しんでいただき、三浦半島では希少となった水生生物を保護育成するため、本年1月に斜面崩落防止工事と“上の池”の漏水防止工事を行いました。教育園の水路の最上部にある“上の池”

には1年を通じてアカハライモリが生息し、早春にはトウキョウサンショウウオが産卵に訪れます。また、今号の2ページでも紹介している水生昆虫も暮ら



斜面崩落防止工事

しています。森の散策や、自然観察などで来園された折にはぜひ、これらの水生生物に目を留め、せせらぎに耳を傾け、身近な自然を楽しんでください。

学習棟では、トウキョウサンショウウオの幼生やアカハライモリ、園内の“下の池”に生息している在来のメダカやヒラテテナガエビなどの飼育展示を行っています。日ごろ目にする機会の少ないこれらの小動物をぜひご覧ください。

磯の中は春の気配

この冬は大雪が降るなど厳しい寒さが続きましたが、磯から海を眺めれば海藻の季節。さまざまな種類の海藻が波にゆらめいていました。ハバノリやワカメなどは、昔も今も天神島の貴重な海産資源です。晴れて海が風(な)いだ日には、海藻の漁をする船が天神島と笠島の間は何艘も浮かびます。潮だまりに目をやると、小さなタツナミガイやアメフラシ、ブドウガイたちがゆっくりと動くのが見られるようになりました。

※漁業者以外による水産物の採取は禁じられています。



磯は海藻の季節



アメフラシ

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報や「教育園だより」は下記ホームページでもご覧いただけます

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp> ★4月より全面リニューアル予定!お楽しみに。